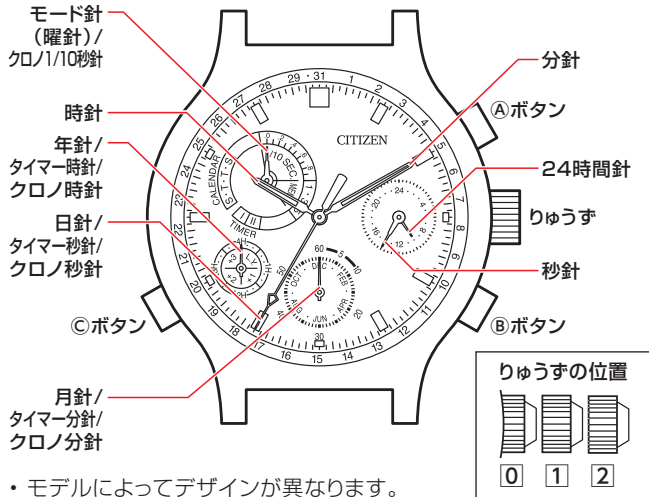


675* 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 675*取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページをご参照ください。

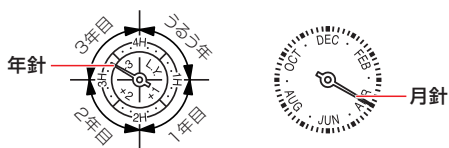
時刻を合わせる

1. 秒針が0秒位置を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
24時間針は時計と連動しています。午前午後を間違えないよう注意します。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして、終了する秒針が動き始めます。

カレンダーを合わせる

午後9時から午前1時の間は、合わせるのをさけてください。正しく切り替わらなくなる場合があります。

1. りゅうずの位置を①にする
2. ③ボタンを押して、月、年を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
年は、うるう年からの経過年に合わせます。
(例)うるう年から3年目の4月にセットするときは年針を3年目の境界内まで進めます。その後、月針を見ながら4月(APR)の位置まで進めます。



うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

3. ④ボタンを押して、日を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
4. ⑤ボタンを押して、曜を合わせる
5. りゅうずの位置を①にして、終了する

タイマーIを使う

1分単位、最大60分までのタイマーを設定できます。
・カウントダウン中に他のモードに切り替えると、タイマーはリセットされます。ただし、設定値は残ります。

1. ③ボタンをくり返し押して、モードを「TIMER I」にする
タイマー秒針が0秒を指し、タイマー時分針が、前回設定したタイマーの時、分を示します。
2. ②ボタンを押して、タイマーの時間を設定する
②ボタンを押すごとに、タイマー分針が1分ずつ進みます。
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
3. ④ボタンを押す
設定した時間でカウントダウンが始まります。
スタート/ストップ：④ボタンを押します。
・カウントダウン中に⑤ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンが始まります。
リセット：ストップ中に⑤ボタンを押します。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が約10秒間鳴ります。
タイマー終了後、タイマー時針と分針が、タイマー設定時間に戻ります。

タイマーIIを使う

1分単位、最大60分までのタイマーを設定できます。
・カウントダウン中に他のモードに切り替えると、タイマーはリセットされます。ただし、設定値は残ります。

1. ③ボタンをくり返し押して、モードを「TIMER II」にする
タイマー秒針が0秒を指し、タイマー時分針が、前回設定したタイマーの時、分を示します。
2. ②ボタンを押して、タイマーの時間を設定する
②ボタンを押すごとに、タイマー分針が1分ずつ進みます。
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
3. ④ボタンを押す
設定した時間でカウントダウンが始まります。
スタート/ストップ：④ボタンを押します。
・カウントダウン中に⑤ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンが始まります。
リセット：ストップ中に⑤ボタンを押します。

タイムアップ予告

タイムアップ前の下記時間に、1回ずつタイムアップ予告音が鳴ります。
10分、5分、3分、1分、50秒、40秒、30秒、20秒、10秒、5秒、4秒、3秒、2秒、1秒

オートクロノ機能

タイマーがタイムアップすると、タイムアップ音が約2秒間鳴り、同時にモードがクロノグラフへ切り替わり、クロノグラフ計測がスタートします。

クロノグラフを使う

1/10秒単位、最大4時間まで計測できます。

1. © ボタンをくり返し押して、モードを「クロノグラフ」にする

クロノグラフ1/10秒針、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時針は、0位置で停止します。



2. クロノグラフを使う

スタート/ストップ：© ボタンを押します。

スプリット：計測中にⓐ ボタンを押します。スプリットタイムは、約10秒間表示されます。

・スプリットタイムは、最初から5つまでのメモができます。また後でこれらのメモを呼び出すことができます。

リセット：ストップ中に、ⓐ ボタンを押します。

スプリットタイムメモを呼び出す

リセット中に、ⓐ ボタンを1回押すと、モード針がメモNo.1を指し、クロノ各針が時、分、秒を表示します。再度ⓐ ボタンを押すと、クロノ1/10秒針が1/10秒のデータを表示します。

さらにⓐ ボタンを押すと、メモNo.2のスプリットタイムが同様に表示され、ⓐ ボタンの操作をくり返すことにより最大5つのメモを表示し、リセット状態に戻ります。

基準位置を確認する

1. リ्यूズの位置を①にする

2. © ボタンをくり返し押して、モードを「CALENDAR」にする

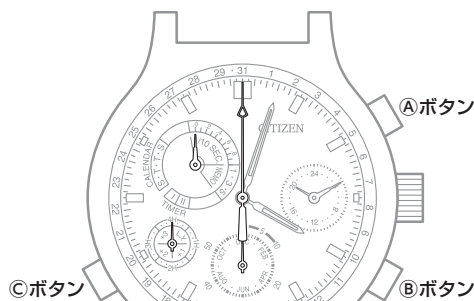
3. Ⓐ ボタンを約1秒間以上押し続ける

現在の基準位置が表示されます。

正しい基準位置：

年・月・日・曜針：12時位置

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「オールリセットと基準位置修正を行う」に従って、基準位置を修正します。



4. Ⓐ、Ⓑ、© ボタンのいずれかを押し、確認を終了する

ボタンを押さなくても、しばらく経つと、自動で通常表示に戻ります。

オールリセットと基準位置修正を行う

1. リ्यूズの位置を②にする

2. Ⓐ、Ⓑ、© ボタンを同時に押して、時計をオールリセットする

ボタンを離してから約2秒間後、日針→曜針(モード針)→月・年針が順に回転し、オールリセットが行われます。

・オールリセットが終わると、確認音が鳴ります。

3. Ⓐ ボタンを押して、日針を12時位置に合わせる

4. Ⓑ ボタンを押して、月針、年針を12時位置に合わせる

5. © ボタンを押して、曜針を0位置(真上)に合わせる

ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。

6. リ्यूズの位置を①にして、終了する

曜針が「SUN」(日曜日)まで進みます。

・終了後、時刻・カレンダーを合わせ直してください。